

アタリ

歳末号 | No. 00004
平成25年12月29日(日)
発行 書肆べう
ながしろほんり

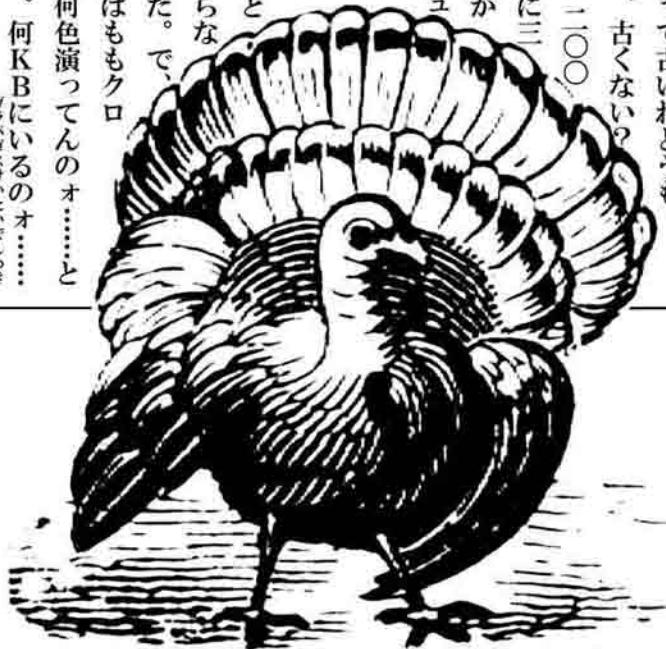
延刊である。

本來ならば十田・二十五田に出すつもりの弊紙「ア

思つておる。もし得つておる
人があつたとしてもこのご時
世だ。ツイッターなどでどう
せ書き手の動向など一目瞭然
であるからして、今更どうこ
う出来るものでもないのであ
つた。動向だけに！

サンタは存在する。

A black and white illustration of a large, ornate fan with many feathers, positioned behind the text block.



↑数々のクリスマスを経て最高に強まった七面鳥であるが義理と人情には弱い。「はじめてのおつかい」に弱くバットで殴れば死ぬしオープンでこんがり焼ける。やっぱり喰われる

みで、ラテン語読みでニコラ
ウス、聖ニコラウスをオラン
ダ語読みするとシンタクラー
ス、十四世紀頃から聖クラー
ス祭があつて、十七世紀に彼
らがアメリカに入植した時に
一緒に持ち込んで「サンタク
ロース」となつた。牛キペチ
ア、お茶も出さないのによく
教えてくれる。角砂糖でも食
わせたほうがいいかしらん。
トなると、ですよ。となる
とダック。サンタいるぢ
やん、ということになる。だ
つたらあれよ。昔やア「せん
とにこらうす」というおぢさ
んがいてね、貧乏な子どもに
施しをしておつたんだけど、
いつしか子どもになんか呉れ
ようということになつた。我
々はそのサンタクロースの意
志を継いでプレゼントを呉れ
てやろう、でいいぢやねえで
すか。サンタはいる、いない
ぢやなくて「いた」でいいぢ
やない。幼稚園児にや難しい
とは思いません。金太郎だつ
て後に坂田公時になるんだし。
牛若丸も義経にしておけだし。

べう式「アタリ」は、

書肆べうの発行する冗句と与太話のフリーペーパーです。出来れば各自でPDFをダウンロードし、プリンターなどを駆使してお楽しみください。A4版です。

御寒絵本 - www.yakka.com (yakka.com) 未完

Wiley-Blackwell Journal of Economic Surveys

親子丼。

井 戸の中に石を投げ入れて「どんぶり」という表意文字だとと思わなかつたが、それを「ご飯の上になんか掛けたやつ」の名前にするのもよくわからないが、親子丼である。低予算であるので重宝しておる。さらにケチつて鶏肉を適当に購入して足りない場合、三〇%引きのちくわを刻んで投入する。するてえともうすでに親子丼ではなく「今日は親子水入らず……とおもつたら誰よ！ 誰なのよおぢさん！」丼となる。美味いかと云われるどちくわが高増し要員なのでんともかんとも。